※令和４年度以降入学生用

学校番号	3022

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	美術１　（光村図書出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術の創作活動を通じて美術体験を豊かにし、表現と鑑賞の能力を伸ばすと共に、生活を豊かにする為に工夫する態度を育て、人の個性を尊重し自分の内面を知る時間にしてもらいたい。

2　学習の到達目標

・知識及び技能

画材、用具の使用法を理解し、特性を生かして表現する力を養う。各課題において色彩の効果や造形の構造及び手順を理解した上で豊かな構想を広げる。

・思考力、判断力、表現力等

美術を通して美的感覚を洗練し、表現と鑑賞の能力を高める。表現形式の特性を生かし、形体・色彩・構成などを工夫して創造的な構想を練る。目的や条件を基にした主題の把握、デザインの工夫や吟味が出来るようになる。

・学びに向かう力、人間性等

固定観念にとらわれず、他者の作品や未知のものを理解しようとする柔軟な感性を育てる。ものづくりから伝わってくる素材の魅力や物質を超える価値を表現できる力を身につけることで、物を大切にする心や人の気持ちを大切に思う。協調性を持って行動しお互いに高め合いながら、製作に集中する力を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	・感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能や美しさなどから主題し創造的な表現の構想を練っている。 ・美術作品などの表現方法の工夫や美術文化などを理解し、その素晴らしさや美しさを自分なりに味わっている。	・美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 ・他者への理解、協調性を持って行動し、互いに高め合い成長している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ドローイング	【鑑賞】 ・ガイダンス ・自己紹介ワークシート 【絵画】 ・イメージドローイング 『 ９枚の小さな絵 』 ２０個あるテーマ表より６個を選択し、そのテーマのイメージを想像し、色や形で表現する。残り３個の絵のテーマは自由とし自分の感性で描く。 ・画材はカラーペンを使用する。	a:表現したいことを伝えるために、色や形の工夫がある。（知識・技能） b:選択テーマを理解してカラーペンの特性を生かした線やタッチでイメージ豊かに表現している。（表現や構想） c：自分の中から出るイメージを掴み取り、ドローイングとして紙の上に素直に表現する意欲がある。美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。（取り組む態度）	・作品点（技術的観点） ・ワークシート	・作品点（創造的観点） ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子 ・ワークシート
	色彩構成	【デザイン】【絵画・彫刻】 ・色彩構成 「アニマルモザイク」 動物をモチーフにした色面構成。 色についての基本的要素をの学び。（三原色・補色・色相環など） 自分の描いた動物と背景を格子分割で美しい配色で着彩する。	a:アクリル絵の具で美しい混色・彩色方法を表現している。（知識・技術） b:自分の選択した動物の特徴を生かしたシルエットと、モチーフに適した色彩で自己表現をする。（表現や構想） 合評。他者の作品から色の理解について学んでいる。（鑑賞） c:色と形についての知識を知り、色の組み合わせから生まれるリズムや調和を感じ、課題の特性を理解し興味を持っている。（取り組む態度）	・作品点（技術的観点） ・ワークシート	・作品点（創造的観点） ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子 ・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

２学期	ゴム版画	【絵画・彫刻】【デザイン】 ・凸版画 ポートレート（人物）をテーマにゴム版画で作品を製作する。 アンディー・ウォーホルの作品を導入の説明に使用する。 完成した版画作品を貼り付ける冊子をオリジナルの表紙で作る。 （消しゴム判子をパターンで押す。） 版画の色は６色展開の中から２色を選んで刷る。	a:版のサイズに合わせて適切なレイアウトで人物のモチーフを描けている。 正しい彫刻刀の使い方、丁寧な版画工程がこなせている。」 （知識・技術） b:自己表現として人物キャラクターを表現する。 ゴム版画ならではの単純化された線と面の表現が豊かに出来ている。（表現や構想） 合評。他者の作品を鑑賞し、アイデアや技術を学ぶ。 c:版画ならではの多くの工程を的確に進めながら、興味関心を持って意欲的に製作できている。 （取り組む態度）	・作品点（技術的観点） ・ワークシート	・作品点（創造的観点） ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子 ・ワークシート
	銅板レリーフ	【絵画・彫刻】 ・レリーフ彫刻の製作 銅板を使用し動物をモチーフにした薄彫りのレリーフを製作する。 数ミリの凹凸により、立体感や空間を表現する感覚を意識していく。 数種類の金属棒を使い分け、背景を凹ませてモチーフを浮かび上がらせて作品にしていく。 黒化液による着色をして、スチールウール・耐水ペーパーによる磨きを行う。	a:銅板の素材を理解して、道具を機能的に使用して作品を製作する。表情豊かな凹みと着色・磨き仕上げが出来ている。 （知識・技術） b:モチーフに選んだ動物や背景のデザインが調和し、個性も感じられる表現や構想を練っている。（表現・構想） c:彫刻の表現を知り、意欲的に作業を行う工程を学び製作している。（取り組む態度）	・作品点（技術的観点） ・ワークシート	・作品点（創造的観点） ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子 ・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

３学期	フリップブック	【映像メディア】 ・フリップブック 自分でテーマを設定し、全 24 コマで展開するパラパラアニメーションを考える。 （アイデアスケッチ） 24 コマで完結するショートストーリーを考え、コマ割りをする。 （下書き） トレーシングペーパーを利用して登場人物の大きさや動きを画面に揃えて動きに安定感を出す。 （ペン入れ） ピグマペンで清書する。 （製本） ペン入れした専用の用紙を 24 枚にカットし、のりづけして製本する。	a:作品製作を通して、動画の仕組みや製作の技能を習得し、個性のある表現をしている。 キャラクターの動きに安定感があり、なめらかな動きや美しい線のタッチが描けている。 （知識・技術） b:想像力を働かせて豊かな発想で独創的な動画表現の構想を練っている（表現・構想） 合評。他者の作品を鑑賞し、アイデアや技術を学ぶ。 c:動画表現について興味を持ち理解しようとし、積極的に製作に取り組んでいる。 （取り組む態度）	・作品点（技術的観点） ・ワークシート	・作品点（創造的観点） ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子 ・ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度